

箱根サイエンスツアー(2日目)

SSH通信No. 12の続きで、12月21日(水)～22日(木)に行われた理数科2年次のSSH箱根サイエンスツアーの2日目の様子です。午前は大涌谷と箱根ジオミュージアムに行きました。悪天候により大涌谷は視界がとても悪かったので、学芸員さんの解説を聴き、近場の見下ろせる範囲だけの観察だけしてジオミュージアムに戻りました。ジオミュージアム内では箱根の火山の歴史や地形の成り立ちの解説を聴き、硫黄の観察や箱根付近の地形のジオラマの観察を行いました(写真①～③)。

午後は東京理科大学神楽坂キャンパスへ行き、2班に分かれ、近代科学資料館の見学と数学体験館で体験活動を行いました。近代科学資料館では、東京理科大学の創設から140年の沿革や近代の科学史年表、江戸～明治時代の文献、エジソンの蓄音機などが展示されており、解説を聴いた後、各々興味のある展示を見学しました(写真④)。ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智先生の「大村智記念展示室」も見学することが出来ました。

数学体験館では、数学の授業で学ぶ内容を実験し、五感で体験して納得することが出来ます。東京理科大学名誉教授で数学者の秋山仁先生の創設です。事前学習で放物線や楕円の焦点について学んでいたのも、「パラボラアンテナ」や「楕円型ビリヤード」でボールが焦点に集まることを体感することが出来ました。また、理数科2年生はSS数学Ⅱの授業で数学B「確率分布と統計的な推測」を学習しており、「二項分布パチンコ」で二項分布の仕組みを理解することが出来ました。他にも多数の教具がフロア中に置いてあり、生徒は時間いっぱい熱中して実験を行っていました(写真⑤～⑨)。



↑写真① ↓写真②



↑写真③



↑写真④ ↓写真⑦



↑写真⑤ ↓写真⑧



↑写真⑥ ↓写真⑨

